「TOPICS」

①公開講座開催

一般の市民の方々を対象に、参加者の方々と共に考え語り合う参加型の公開講座をめざしております。申込方法は本学ホームページから申込、もしくは往復葉書（通信欄に郵便番号、住所氏名、参加希望日を記入のうえ、）で日本赤十字看護大学広尾キャンパス公開講座係（〒150-0012　東京都渋谷区広尾4-1-3）までお送りください。

今年は、「いのちを育む」をテーマに６月30日（木）講師に料理研究家・随筆家辰巳芳子氏をむかえ、「命のスープ」をテーマに講演会を開催しました。さらに、本学の江本リナ、川名るり准教授の「いのちを守る　ー子どもの安全ー」を７月29日（金）、小原真理子教授の「いのちを守る　ー災害から身を守る知恵と技ー」を９月21日（水）に開催します。是非みなさんのご参加をお待ちしております。

②卒業式・学位授与式

平成22年度卒業式・学位記授与式は、東日本大震災の影響により中止となりましたが、３月24日（木）に卒業証書学位記を学長から当日出席できた学生には直接お渡ししました。また、茶話会を行いました。

学部生132人、編入学生11名、修士課程36名、博士後期課程３名の卒業生・修了生が巣立っていきました。

③入学式

暖かな春の日差しと満開の桜が出迎えるなか、４月１日（金）入学式が行われました。感歎のうずの中、１年生146名、３年次編入学生８名、大学院修士課程看護学専攻29名、大学院修士課程国際保健助産学専攻16名、大学院博士後期課程２名の入学が高田早苗学長より許可されました。

④　本大学開設に尽力された学長　濱田悦子教授、本大学開設時代から、母性看護学・助産学教育にご尽力されました平澤美恵子教授、本学の前身である看護専門学校卒業生で、看護実践・教育・研究センター開設に尽力された川嶋みどり教授が平成23年３月で本学を退職されました。

⑤　平成18年度から看護実践・教育・研究フロンティアセンター認定看護師教育課程は、５年目を迎え、平成23年度から「感染管理」「糖尿病看護」「認知症看護」「慢性呼吸器疾患看護」の４分野を武蔵野キャンパスで開講しました。「皮膚・排泄ケア（旧「創傷・オストミー・失禁看護」）、「がん化学療法看護」については、平成22年度を最後に休講いたします。

年間情報　平成23年度の動き

日　程	行事予定
４月１日（金）	学年開始・入学式
４月４日（月）～６日（水）	ガイダンス
４月７日（木）	授業開始
４月21日（木）	奨学金・進路説明会
４月24日（日）	新入生オリエンテーション（１年）
６月10日（金）～11日（土）	大学祭（クロアルージュ祭）
６月11日（土）	保護者会総会
６月22日（水）	防災訓練
６月30日（木）、７月29日（金）、９月21日（水）	公開講座
７月30日（土）～８月28日（日）	夏季休暇　学年によって時期が若干違います。
９月５日（月）	後期授業開始　学年によって時期が若干違います。
12月23日（金）～１月５日（木）	冬季休暇
３月10日（土）～31日（土）	春季休暇　学年によって時期が若干違います。
３月16日（金）	卒業式

事務局から…

本学保護者会では、保護者の皆様に会報として大学の情報をお届けいたします。

ご住所・ご連絡先が移転・変更になった場合は、大学学務課へのお届けと、本事務局（下記宛）にご連絡願います。

また　皆様からの投稿やお声もお待ちしております。

日本赤十字看護大学
保護者会報（第２号）

発行日　2011年８月10日
発行者　日本赤十字看護大学
保護者会

〒150-0012　東京都渋谷区広尾4-1-3
日本赤十字看護大学広尾キャンパス
保護者会事務局（月曜日・水曜日　10：00-15：00）
［Tel］03-3409-1757　［E-mail］hogosyaj@redcross.ac.jp

日本赤十字看護大学保護者会報（第２号）2011年８月

保護者会会長に就任して

保護者会会長　藤原　忠美

保護者会の理事を2010年度より務めさせていただいております。2009年の保護者会設立から２年が経過する中、本学で学ぶ学生に対する保護者会の支援活動が様々な形で行われているのは保護者の皆様には既にご存知のことと思います。保護者会の皆様からお預かりした会費は、課外活動、病院実習のためには施設の受け入れ条件としてＢ型肝炎やインフルエンザワクチン接種の義務付けに対する費用の一部負担、奨学金による経済的支援、また４年生になると看護師及び保健師の国家試験対策のサポートも重要な支援となっています。このように保護者会会費を学生に対する様々な形で役立つよう運用していくことは、保護者会として大変責任を感じております。私がいつも保護者会理事会で悩まされるのは、本学で一生懸命学んでいる学生で何らなの理由で経済的支援を必要とされている学生に対する保護者会からの奨学金付与による援助です。運営資金はあくまで保護者会費ですので、限られた原資の中で援助できる学生の数にはどうしても限度があるという点です。このことは常に理解できていても、実際に奨学金付与対象者を選考する際にはある一定の基準に照らし合わせて判断しなければならず、この点が一番悩みます。

保護者会会費による学生支援は、将来医療現場に従事する看護師の育成の一助であり、求められる医療現場での能力は基本的には医療知識と経験が重要ではありますが、それに加えてこれまで以上に患者とのコミュニケーション能力や災害時の地域医療における対応能力、更にはより高度な先進医療に携わる能力、また患者ケアのリーダーシップが発揮できる能力が求められてきています。大学側と保護者会が一丸となって、学生に対してこれらの相互的な能力を育成していくことは重要な支援の一つと感じています。本学の学生が病院実習した際にも病院側から一目置かれる存在であって欲しいと願っております。また、将来医療現場に従事した際に役立つよう今後学生に対する社会人マナーやリーダーシップを発揮していくために心がけるべき点の習得なども支援できるようにしていければと考えています。

保護者の皆様方にはこれからも多くのご支援を賜り保護者会を運営していくよう努力してまいりたいと思います。

保護者会活動を通じて

日本赤十字看護大学
保護者会監事　高城　美穂子

平素より保護者会活動に対しご理解、ご協力を下さる保護者の方々、並びに活動を支えて下さる大学関係者の方々には心より御礼申し上げます。

私は日頃、在宅介護の仕事に携わり高齢者や身体障害者の方々の日常生活のお手伝いをしておりますが、専門的な医療、看護についての知識などはありません。このような私に昨年の６月、ご縁があったのか保護者会役員就任のお話を頂いた際は、はたしてお役に立てるものかと非常に考えましたが、何かご協力できればという気持ちで、お受けすることに致しました。

この１年は、保護者会設立以前より活動をされている梅澤会長をはじめとする役員の方々、事務局の方より、その活動を通じて教えて頂く事ばかりです。そして設立にあたりそのご苦労はいかばかりだったかと、心より敬服いたしております。保護者会では常に、お預かりしている会費を、学生生活のサポートをし、将来の看護師、また一社会人としても様々なことを学んでもらいたいという思いで、最大限の有効活用をする事を考えています。具体的には、海外研修に対する奨学金支援や予防接種支援、国家試験対策支援、備品購入の一部補助などです。今後も保護者の方々はもとより、学生の皆さんや大学関係者の方々からのご意見に耳を傾け、より柔軟に対応できる保護者会であったらと考えます。昨今いわれます少子高齢化、激しい気象の変化に加え、これまで想像ができなかった災害や事故が起きる等、私達は心身共に厳しい社会を生きていると思います。この先、医療の現場で患者さんの支えとなる看護師の役割は、非常に尊いものです。学生の皆さんには大学生活の中で、社会が今後どう変化していこうとも、困難を困難とせず乗り越える、知識や技術、精神力などあらゆる面で強い力を是非とも養って頂きたいです。保護者会はそのお手伝いができたら幸いと一保護者として思っています。

就職支援委員会「看護学生の適性に即した就職支援体制の構築に向けて」の本学就職支援内容

就職支援委員長　佐藤　眞

文部科学省は、国公私立大学を通じた優れた教育や世界最高水準の教育研究拠点の形成、さらに我が国の将来を担う若手研究者・高度医療人の育成に関する事業を次々と掲げ、様々な重点的支援を行っています。本学では、その支援の一環として平成21年度「大学教育・学生支援事業」に「看護学生の適性に即した就職支援体制の構築に向けて」というテーマで申請し採択されました。

取組内容は、本学在学生に対する就職支援の充実、特に看護学生の個々の適性に応じた就職支援体制づくりです。学部学生の個々の適性に応じた就職支援体制を確立するため、就職支援を専門とする部門を確立し、看護実践科目とリンクさせ、就職説明会、国家試験対策講座、卒業前実技演習等を通して、学生一人ひとりの特性を活かした就職支援体制の構築を図り、実習施設と共同で看護専門職者の離職率の引き下げを図ること等就職支援システムの整備につなげていくことを目的としています。

上記事業を推進していくほか、就職支援委員会では全学年を対象に就職支援・国家試験合格対策等について、年間行っております。単科大学の特徴を生かし、学生一人ひとりと向き合いながら、学生の就職、進学等の相談に応じております。

①４月　奨学金・進路説明会（就職支援、マナー研修含）
②４月～７月　進学･各領域進路説明会（保健師等）
③６月　新人看護職をサポートする会(卒業生対象)
④４月～１月　国家試験対策講座実施
（模擬試験：看護師３回、保健師２回　保護者会助成）
（対策講座：11月から実施）
⑤３月　卒業前実技演習実施

平成22年度（平成23年３月）卒業した学生は次の施設へ就職あるいは進学しました。

平成22年度卒業生　就職先一覧

1．日本赤十字社関連施設 臨床	日本赤十字社医療センター	35
	武蔵野赤十字病院	8
	大森赤十字病院	13
	横浜市立みなと赤十字病院	9
	秦野赤十字病院	5
	津久井赤十字病院	3
	水戸赤十字病院	3
	足利赤十字病院	2
	芳賀赤十字病院	2
	大田原赤十字病院	2
	古河赤十字病院	3
	成田赤十字病院	7
	さいたま赤十字病院	4
	小川赤十字病院	2
	深谷赤十字病院	1
	山梨赤十字病院	3
	石巻赤十字病院	1
	諏訪赤十字病院	1
	名古屋第二赤十字病院	2
	大阪赤十字病院	1
小計		107
2．赤十字以外の医療施設 臨床	東京大学医学部附属病院	3
	東京医科歯科大学医学部附属病院	1
	国立病院機構埼玉病院	1
	東京都立小児総合医療センター	3
	東京都立墨東病院	2
	東京都立広尾病院	1
	東京都立松沢病院	1
	多摩南部地域病院	1
	静岡県立静岡がんセンター	1
	飯田市立病院	1
	聖路加国際病院	1
	虎の門病院	1
	総合病院厚生中央病院	1
	癌研有明病院	1
	新東京病院	1
	愛育病院	1
	みさと健和病院	1
	杏雲堂病院	1
	㈱五幸トータルサービス	1
	新宿区民健康センター	1
小計		25
3．その他（行政機関・進学含）		11
小計		11
総合計		143

※日赤関係就職の割合 107/143（74.8%）

最後になりましたが保護者会のみなさまからは国家試験対策を中心に様々なご支援をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

学長に就任して

学長　高田　早苗

この４月に日本赤十字看護大学の学長に就任しました高田早苗です。保護者の皆様には日頃より本学教育にご支援ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。

前任校の２年生の実習でのできごとです。

高齢の患者が看護師の口腔ケアに抵抗して、手を払いのけたり殴ろうとしたりする。受け持った学生は、難聴のせいで看護師の説明が聞こえていない、器具をもって近づく看護師を怖いと感じているのでは、と患者の行動の理由を考えます。ゆっくりと語りかける学生に患者は穏やかな表情を取り戻し、笑顔さえ見せてくれたということです。学生の曇りなき眼、患者その人への確かで温かなまなざしが、看護ケアの基本であることを教えてくれます。

大震災により私たちの社会のあり様が根底から問われたいま、確かなものを探し求めたくなります。知識や技術を教えるだけでは十分ではない。魂のこもったケアをその価値を学生自らが発見できる大学を目指します。

平成23年度保護者会予算

平成22年度決算及び平成23年度予算については、平成23年６月11日総会でご承認をいただきました。下記の表のとおりでございます。

平成23年度から新たに行う事業といたしまして、保護者会主催講演会・講習会の実施です。

昨今、若者のマナーについて色々と論議がありますが、本学でも昨年度から就職向のマナー研修や患者様への対応としてのマナー、身だしなみ等授業で対応してまいりましたが社会人としてのマナー等について保護者会主催講演会で学生に身につけていただきたいという観点から事業として企画されております。また、この度の震災に伴い、災害用品への支援を行うことにしております。

平成23年度　日本赤十字看護大学保護者会　予算（22年度決算比較）
（平成23年７月１日～平成24年６月30日）

（単位：円）

区分	科　目	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	予算－決算	23 年度予算項目
収入の部	事業収入	11,660,000	11,860,000	200,000	
	会費収入	11,660,000	11,860,000	200,000	593 人（4 学年 575 人＋編入 18 人）× 2 万円
	その他の収入	0	0	0	
	寄付金収入	0	0	0	
	雑収入	0	0	0	
	前年度繰越金	2,112,472	2,775,096	662,624	
	収入計	13,772,472	14,635,096	862,624	
支出の部	事業費	10,246,500	10,680,000	433,500	
	学生活動補助費	1,530,000	1,630,000	100,000	保護者会主催講演会　100 万円
					災害用品支援　50 万円
					キャロリング支援　3 万円
					大学祭への支援　10 万円（講演会等）
	奨学金補助費	3,400,000	3,500,000	100,000	奨学支援　300 万円（授業料 30 万円× 10 人）
					国際交流支援　50 万円（旅費 5 万円× 10 人）
	福利厚生事業費	5,316,500	5,550,000	233,500	国試対策講座・模試支援　350 万円（講座 170 万円・模試 180 万円）
					図書館整備費支援　50 万円（100 冊：50 万÷ 5,000 円）
					予防接種　155 万円（B 型肝炎 4500 円× 1 回× 146 人）、インフルエンザ（1500 円（費用の一部）× 593 人）
	運営費	650,876	1,710,000	1,059,124	
	消耗品費	3,622	50,000	46,378	文房具
	通信運搬費	109,700	300,000	190,300	書類送付
	会議費	86,249	160,000	73,751	役員会･総会交通費・懇談会費
	印刷費	53,655	200,000	146,345	会報印刷
	業務委託費	15,750	200,000	184,250	ホームページ修正費 20 万円
	備品費	0	300,000	300,000	パソコン･プリンター式
	事務費	381,900	500,000	118,100	人件費他
	その他の支出	100,000	100,000	0	
	預り金	0	0	0	
	未払金	0	0	0	
	周年事業積立金	100,000	100,000	0	
	予備費	0	1,000,000	1,000,000	
	次年度繰越金	2,775,096	1,145,096	△ 1,630,000	
	支出計	13,772,472	14,635,096	862,624	